

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コペルプラス天保山教室		
○保護者評価実施期間	令和7年11月18日 ～ 令和7年11月21日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和7年11月18日 ～ 令和7年11月18日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年11月29日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々にあったサポートを受けることができる。	療育前に職員間で情報共有をし、遊びの内容や支援方法の確認、見直しを行っている。	今、工夫して行っていることを継続し、子どもと保護者の様子を観察しながら、支援方法や保護者対応など、その都度見直しを行っていく。
2	療育見学が出来るので、先生と子どものやりとりを見て、家での関わり方を学ぶことが出来る。	療育後に保護者へ、頑張ったことなどをフィードバックをしている。苦手だった遊びや理解が難しかった遊びなどは、「こんな支援や声掛けがあると出来る」など、状況に応じて伝えている。	今、工夫して行っていることを継続し、子どもと保護者の様子を観察しながら、支援方法や保護者対応など、その都度見直しを行っていく。
3	送迎を始めたことで、家庭の都合（習い事や仕事で送り迎えが出来ないなど）で休んでいたが、休まず継続した利用が出来ている。	利用が難しい曜日があった時は、送迎が可能な日への振り替え利用を案内している。	今、工夫して行っていることを継続し、子どもと保護者の様子を観察しながら、その都度見直しを行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団での子どもの様子が見えにくい。	・小集団療育も行っているが、個別療育を利用している方が多い。 ・習い事や家庭の都合で、利用時間の調整が難しく、同年齢のクラスが作りにくい。	同じ時間帯に利用しているお友達で、一緒に活動する時間を設定する。
2			
3			